



全国英語教育学会 第47回北海道研究大会 (オンライン開催)

2022年8月6日(土)・7日(日)
実行委員会本部会場：北海道科学大学

.....【 ご案内 】.....

下記の要領により、北海道研究大会を開催いたしますので、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。なお、大会案内、大会プログラム（7月上旬公開予定）、その他大会関連事項は、全国英語教育学会北海道研究大会のウェブサイト上で随時発表いたします。最新の情報は、大会ウェブサイト（<http://www.heles-web.com/jasele2022/>）でご確認ください。

2022年（令和4年）4月1日

全国英語教育学会長	深澤 清治	（広島大学名誉教授）
大会実行委員長	笠原 究	（北海道教育大学）
大会実行副委員長	中村香恵子	（北海道科学大学）
大会実行副委員長	萬谷 隆一	（北海道教育大学）
大会実行副委員長	竹内 典彦	（北海道情報大学）
大会事務局長	志村 昭暢	（北海道教育大学）

- ・期 日 2022年8月6日（土）・7日（日）
- ・実施委員会本部会場 北海道科学大学（<https://www.hus.ac.jp/>）〒006-8585 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
- ・主 催 全国英語教育学会
（地区学会：北海道英語教育学会・東北英語教育学会・関東甲信越英語教育学会・中部地区英語教育学会・関西英語教育学会・中国地区英語教育学会・四国英語教育学会・九州英語教育学会）
- ・後 援（申請中） 北海道科学大学・北海道教育委員会・札幌市教育委員会・北海道高等学校英語教育研究会
北海道中学校英語教育研究会・札幌市中学校英語教育研究会・札幌小学校英語活動研究会
- ・担当地区学会 北海道英語教育学会

重要な日程

発表応募締切日：5月13日(金) 予稿集原稿提出締切日：6月10日(金)
参加事前申込締切日：7月1日(金)

.....【 参加要領 】.....

1. 参加資格	全国英語教育学会の会員、または、会員以外で英語教育に従事している方、および、英語教育に関心を持っている方なら、どなたでもご参加いただけます。
2. 参加申込	参加を希望されている方は、できるだけ事前に申し込みをお願いいたします。申し込みの際は、北海道研究大会ウェブサイト (http://www.heles-web.com/jasele2022/) を通してお申し込みください。種別を問わず発表を申し込まれた方、および、各種フォーラム・ワークショップ・シンポジウムの提案者（学会が依頼する提案者を除く）も大会参加の手続きが必要となります。
3. 参加事前申込締切日	参加事前申込締切日は、2022年7月1日（金）23:59 です。
4. 参加費	<p>参加費の振込日程により、振込方法・参加費が変わりますのでご注意ください。</p> <p>○事前申込（7月1日（金）まで）の場合／予稿集（PDF）へのアクセス権を含めて、会員2,300円、非会員3,000円、学生1,300円</p> <p>【支払方法】イベントペイ</p> <p>○事前申込以降</p> <p>・7月2日（土）から7月29日（金）までの場合／予稿集（PDF）へのアクセス権を含めて、会員も非会員も3,300円、学生は2,000円</p> <p>【支払方法】イベントペイ</p> <p>・7月30日（土）から大会当日までの場合／予稿集（PDF）へのアクセス権を含めて、会員も非会員も3,300円、学生は2,000円</p> <p>【支払方法】イベントペイ</p> <p>※学生（学部学生、専任職を有しない大学院生）の場合は、北海道研究大会のウェブサイトのイベントペイで申し込みした後に、学生証提出フォームから学生証のコピーをアップロードしてください。</p> <p>※本学会は、小学校英語教育学会と提携しております。小学校英語教育学会会員の方は、全国英語教育学会会員でなくても、会員と同額（事前申込（7月1日（金）まで）：2,300円、事前申込以降（7月2日（土）以降）：3,300円）になります。</p> <p>※支払いに伴う手数料（イベントペイ入金に伴う手数料220円を含む）等は参加者がご負担ください。</p>
5. 申込の取り消し	<p>北海道研究大会ウェブサイト (http://www.heles-web.com/jasele2022/) 上より申し込みの取り消しを行ってください。</p> <p>参加申込締切後のお取り消しに関するキャンセルポリシーは次の通りです。</p> <p>・2022年7月14日以前にキャンセルをする場合は、予稿集のアクセス権はありません。参加費は手数料を除いた上で返金します。</p> <p>・2022年7月15日以降は、キャンセルはできません。参加費は返金いたしません。</p>
6. 派遣申請書	大会出席の派遣申請が必要な方は、依頼先・住所・氏名を明記の上、所属長名を付記し、返信用封筒に宛先を記入、切手を貼付けの上、大会事務局までお申し込みください。
7. 領収書申込	参加費に関する領収書は原則として大会事務局では発行しません。特別に領収書が必要な場合は、大会事務局までご連絡ください。
8. 学生会員の大会参加助成制度	本学会では、学生会員の大会参加助成制度として、交通費・宿泊費の助成を行っています（全国英語教育学会の制度・応募要領、 http://bit.ly/gakuseijosei ）。北海道研究大会では、オンライン開催に伴い、本制度は適用されませんのでご了承ください。

.....【 発表要領 】.....

<p>1. 発表者の資格</p>	<p>個人会員の発表資格</p> <p>(1) 2022年2月末までに、全国英語教育学会に会員登録し、2021年度分会費を納入していることが必要です。</p> <p>(2) 共同研究では、代表者が上記の条件を満たし、かつ、他の発表者全員が、発表申込締切日までに、全国英語教育学会に会員登録し、会費を納入していることが必要です。共同研究代表者は、共同研究者の会員登録と会費納入が発表申込締切日までに完了されていることを、責任を持ってご確認ください。</p> <p>(3) 研究大会の実行委員会においても、発表申込終了時点で、研究発表・事例報告の発表申し込み者全員について、全国学会事務局の会員名簿によって、資格審査を行います。その結果、共同研究の場合も、共同研究発表者としての資格を有していないと判明した場合、共同研究それ自体の発表ができませんのでご注意ください。</p>
<p>2. 自由研究発表・事例報告の申込</p>	<p>(1) 発表申し込みは「全国英語教育学会第47回北海道研究大会」ウェブサイト (http://www.heles-web.com/jasele2022/) の「発表申込」のページから行ってください。書式に従って、発表題目、その他必要事項を記入し、5月13日(金)23時59分までに申し込んでください。内容を審査の上、発表申し込みが採択された場合には要旨をプログラム集(ウェブサイトで公開)に掲載いたします。なお、発表申し込み後は発表題目等を一切変更できませんのでご注意ください。</p> <p>(2) 発表は、種別を問わず2件まで可能ですが、発表代表者には1回しかありません。但し、フォーラム、シンポジウムなどは含みません。</p> <p>(3) 発表要旨の作成に当たって</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ウェブサイト上の発表申し込みフォームに書き込んでください。 ② 日本語は400字以内、英文は250 words程度(ともにタイトルや所属は含まない)でお書きください。 ③ 写真や図は入れられません。 ④ 発表タイトルおよび要旨は、発表言語に合わせてください。 ⑤ 要旨はプログラム集に掲載されます。 <p>(4) 発表カテゴリーは下記のようになっております。本研究大会ではポスター発表はありませんので形態は口頭発表のみとなります。ご注意ください。</p> <p style="text-align: center;">種類：自由研究発表 / 事例報告</p> <p>(5) 発表の日時の指定は受け付けませんのでご了承ください。</p>
<p>3. 予稿集原稿 執筆要領</p>	<p>(1) 当日配布するハンドアウトの代わりとして予稿集(ウェブ版)を作成します。発表内容を執筆要領に従って、A4用紙2枚(厳守)で作成してください。</p> <p>(2) 発表内容を作成する際には、自身の研究内容と他の研究者の研究内容とが明確に区別されるように記載してください。特に、自身の研究が他の研究者の研究と密接な関係にある場合(例えば、共同研究で行った内容を改めて個人で発表する場合)、その旨を原稿の中(本文及び引用文献)で明確に記載したり、必要であれば事前に発表内容に関して当該研究者の了解を得たりして、他の研究者の知的財産権を侵害しないように配慮してください。</p> <p>(3) 原稿は北海道研究大会ウェブサイトのフォームを使用してください。</p> <p>(4) 予稿集原稿作成に関するお問い合わせは、北海道研究大会ウェブサイトの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。</p> <p>(5) 予稿集の執筆要領は、北海道研究大会ウェブサイトに掲載しますのでご覧ください。執筆要領に従っていない原稿は、編集委員会で修正、あるいは執筆者に差し戻されることがあります。</p> <p>(6) 北海道研究大会では予稿集をpdfファイルとして大会ウェブサイトに掲載いたします(参加申し込み者に対する限定公開となります)。</p> <p>(7) 図表(特に写真)の掲載について、著作権等の取り扱いには十分ご注意ください。また写真に写り込んだ生徒や学生・教員などの顔、書籍の書影やアプリの写真などについて、執筆者の責任で許諾を取る、写真等の加工をしておく等、必要な手続きをおとりください。</p> <p>(8) ウェブ上に公開される予稿原稿はカラー表示されます。</p> <p style="text-align: center;">予稿集原稿提出締切日：2022年6月10日(金)</p>

4. 発表要領

- (1) 自由研究発表・事例報告は、発表・報告時間 20 分、質疑応答 5 分、計 25 分です。司会者につきません。進行の補助をするタイムキーパーがつきます。
- (2) 機器の不具合やインターネット接続環境の問題による発表時間の短縮があっても、終了時間はお守りください。
- (3) 自身が関わっている著書や教材等の宣伝チラシや、自身が関わっている研究会等の案内チラシなどの配布や、スクリーンでの紹介・案内行為については、原則、認められていません（賛助会員による発表は除く）。ただし、発表内容に関連して自身が関わっている著書・教材・研究会等に補足的に触れることは、営利目的でない限り、認められます。
- (4) 発表者のビデオのバーチャル背景を利用する場合、指定するバーチャル背景か、発表者の所属機関のバーチャル背景をご利用ください。著書や教材等の宣伝や、研究会等の案内を扱った背景は認めません。
- (5) 予稿集のための原稿を作成する場合と同様、自身の研究内容と他の研究者の研究内容とが明確に区別されるように発表してください。特に、自身の研究が他の研究者の研究と密接な関係にある場合（例えば、共同研究で行った内容を改めて個人で発表する場合）、その旨を発表の中で明確に説明したり、必要であれば事前に発表内容に関して当該研究者の了解を得たりして、他の研究者の知的財産権を侵害しないように配慮してください。

.....【 大会日程概要 】.....

8月6日(土)

時間帯	内容	会場
8:30 ~	開場 ※各発表会場の開場は 9:15 です。	
9:00 ~ 9:20	開会行事	メイン会場
9:30 ~ 11:05	自由研究発表・事例報告 ① 9:30~09:55 ②10:05~10:30 ③10:40~11:05	各発表会場
11:15 ~ 12:35	特別講演	メイン会場
12:35 ~ 13:55	昼食	
12:45 ~ 13:45	大学生・大学院生フォーラム	各発表会場
13:55 ~ 15:30	自由研究発表・事例報告・企業(賛助会員)プレゼンテーション ④13:55~14:20 ⑤14:30~14:55 ⑥15:05~15:30	各発表会場
15:40 ~ 17:20	課題研究フォーラム・授業研究フォーラム ①課題研究フォーラム1年目(九州、東北) ②課題研究フォーラム2年目(中国、関西) ③授業研究フォーラム(関東甲信越、四国)	各会場発表
17:30 ~ 18:10	総会	メイン会場

※企業による Zoom 対応時間：9:30~17:20

8月7日(日)

時間帯	内容	会場
8:30 ~	開場(各発表会場)	
9:10 ~ 11:20	自由研究発表・事例報告・企業(賛助会員)プレゼンテーション ⑦ 9:10~09:35 ⑧ 9:45~10:10 ⑨10:20~10:45 ⑩10:55~11:20	各発表会場
11:25 ~ 12:25	ワークショップ	各発表会場
12:30 ~ 14:00	昼食	
12:30 ~ 14:00	大学生・大学院生フォーラム ランチョンセミナー(北海道企画)	各発表会場
14:05 ~ 15:45	シンポジウム	メイン会場
15:50 ~ 16:10	閉会行事	メイン会場

※企業による Zoom 対応時間：9:10~15:15

※ 発表件数など、諸々の事情により、時間帯に多少の変動が生じる場合がございます。詳細は、北海道研究大会ウェブサイトをご参照ください。

シンポジウム 日本の英語教育の将来：新しい時代の教育と外国語授業のイノベーション

- ・コーディネーター： 染谷 藤重（京都教育大学）
- ・シンポジスト： 中川 一史（放送大学）
草薙 邦広（県立広島大学）
小張 敬之（青山学院大学）

- ・シンポジウム概要：

コロナ禍によるオンライン、リモート授業。AI や VR, AR, 自動翻訳技術の発達、授業の ICT 化や教科書のデジタル化。タブレット端末やスマートフォン使用による学習の個別化など。予想を超えるスピードで変わる社会や学習の環境に応じて外国語の授業はどのように変わるのか。変わるべきなのか。

9e.....9e

特別講演 ラジオという“教室”で英会話を教えて

- ・講師： 遠山 顕 氏（元 NHK ラジオ英語講座講師、事務所 COMUNICA 代表）
- ・講演概要：

私は 1981 年に始めた文化放送『百万人の英語』から 2021 年に終了した NHK 『遠山顕の英会話楽習』まで、数年のブランクを除き、計 36 年あまりラジオ講座を担当しました。その間、ネイティブのパートナーや声優の方々、スタッフや関係者の皆さんのお力を借りながら、執筆や演出、そしてダイアログのイラスト指示を含め、制作に携わることができました。自己の授業は interesting and instructive with a touch of entertainment にという目標を常に掲げておりましたが、それを ON THE AIR という足場の不確かな教室でも行えればという思いがありました。

オンラインでもテレビでも教室でもない、ただ暗闇に声がする媒体ではありますが、このシンプルなメディアを私なりにあれこれ活用しえた幸運を感じています。毎回 15 分の授業ではありましたが、その空間で幾多の実験をし、大小の発見がありました。現場の違いを超えて何かお役に立てるものがあればと思い、講演をお引き受けした次第です。あれこれ具体的な話ができればと思っております。

*:.:.:***:.:.:***:.:.:***:.:.:***:.:.:***:.:.:***:.:.:***:.:.:***:.:.:***

特別講演講師 プロフィール



遠山 顕（とよやま けん）氏

北海道芦別市出身。東京外国語大学英米語科卒業、テンプル大学ジャパンキャンパス大学院（英語教授法）修了。

過去に神田外語学院、東洋英和女学院大学、海外子女教育振興財団で教鞭を執る。マッキンゼー&カンパニーの Multinational Business Institute と東京大学 EMP で計 20 年 How to Express Yourself を 1100 名ほどのビジネスパーソンに教える。

ラジオ英語講師として、文化放送『ラジオ百万人の英語』を 11 年。NHK ラジオで『英会話入門』『英語リスニング入門』『英会話中級』『英会話上級』『ラジオ英会話』『遠山顕の英会話楽習』を計 25 年間担当。296 冊のテキストを上梓する。現在まで話すことを中心に据え、演劇的要素を取り入れた「話学」へのフレンドリーな道案内役として、英語教育、英語楽習、異文化間コミュニケーション、ユーモアの分野での提言と実践を行っている。

俳優として過去に劇団アップスなどに所属し、多くの舞台に出演。その他、NHK テレビドラマ「山河燃ゆ」、NHK「日本語講座」等出演。テレビ朝日「プレステージ」では 6 ヶ月間司会を務めた。

趣味は散歩、英語クロスワード、映画鑑賞。筑前琵琶日本橋会会員

■ 課題研究フォーラム1年目

1. 「指導の成果向上を目指したスピーキング評価—指導と評価の実際—」(九州英語教育学会)

- ・コーディネーター： 森下 浩二 (佐世保工業高等専門学校)
- ・提案者： 柿木 洋介 (長崎県立中五島高等学校)
一ノ瀬 憲二 (長崎県立長崎東高等学校)
大下 晴美 (大分大学)

2. 「観点別学習状況の評価と言語能力の評価—言語習得・リーディング・語彙研究の知見から」 (東北英語教育学会)

- ・コーディネーター兼提案者： 鈴木 渉 (宮城教育大学)
- ・提案者： 高木 修一 (福島大学)
佐藤 剛 (弘前大学)

9e.....9e

■ 課題研究フォーラム2年目

1. 「英語教育の新しい流れ」(中国地区英語教育学会)

- ・コーディネーター兼提案者： 宮迫 靖静 (福岡教育大学)
- ・提案者： 猫田 英伸 (島根大学)
尾島 司郎 (横浜国立大学)

2. 「ICTを活用した協働的で深い学びの構築」(関西英語教育学会)

- ・コーディネーター： 加賀田 哲也 (大阪教育大学)
- ・提案者： 橋本 芳宏 (大阪教育大学附属天王寺小学校)
今西 竜也 (京都教育大学附属京都小中学校)
乾 まどか (大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎)

9e.....9e

■ 授業研究フォーラム

1. 「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた音声・文字指導の実践と検証」 (関東甲信越英語教育学会)

- ・コーディネーター兼司会： 加藤 茂夫 (新潟大学)
- ・提案者： 入山 満恵子 (新潟大学)
山下 桂世子 (英国 Ashbrook School)
渡邊 さくら (新潟県南魚沼市教育委員会)
谷川 美記子 (新潟県新潟市立万代長嶺小学校)
武石 裕子 (新潟県新潟市立石山中学校)

2. 「言語活動の高度化を目指す授業研究の実際—PPP, TBLT, Storytelling, Retelling の 実践報告—」 (四国英語教育学会)

- ・コーディネーター兼提案者： 齋藤 嘉則 (東京学芸大学教職大学院)
- ・提案者： 折橋 晃美 (長野県佐久市立野沢小学校)
久保 孝彰 (香川県坂出市立坂出中学校)

■ 大学生・大学院生フォーラム

1日目「大学生・大学院生のための交流の場」

・司会： 鈴木 健太郎（北海道教育大学）

2日目「大学生・大学院生のためのキャリアパス」

・司会： 森 好紳（白鷗大学）

・登壇者： 蔦野 直迪（栃木市立栃木第三小学校）

原 翔平（北海道釧路北陽高等学校）

関谷 弘毅（東洋英和女学院大学）

9e.....9e

■ ワークショップ

1. 「読むことと話すことの統合」

・講師： 立松 大祐（愛媛大学）

2. 「SDGs を題材とした英語授業」

・講師： 工藤 泰三（名古屋学院大学）

3. 「英語授業における ICT 活用方法の提案」

・講師： 岩瀬 俊介（福島県 学校法人石川高等学校・石川義塾中学校）

4. 「e ポートフォリオを活用した効果的な授業方法の提案」

・講師： 榎田 一路（広島大学）

※榎田一路先生ご逝去に伴い、開催することが叶いません。
榎田先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

9e.....9e

■ ランチョンセミナー（北海道企画）

1. 「小学校外国語科・外国語活動授業実践」

・講師： 中島 裕美（札幌市立真栄小学校）

平山 伸正（札幌市立宮の森小学校）

・コーディネーター： 萬谷 隆一（北海道教育大学）

内野 駿介（北海道教育大学）

2. 「中学校英語授業実践」

・講師： 柏 敬太（北海道教育大学附属札幌中学校）

館下 真二（北海道教育大学附属旭川中学校）

・コーディネーター： 笠原 究（北海道教育大学）

小野 祥康（北海道科学大学）

3. 「高等学校英語授業実践」

・講師： 小関 隼（北海道札幌北高等学校）

高西 貴幸（北海道苫小牧東高等学校）

・コーディネーター：

白鳥 金吾（北星学園大学短期大学部大学）

志村 昭暢（北海道教育大学）

.....【 プログラム集と予稿集の配布について 】.....

◆北海道研究大会ではプログラム集及び予稿集はオンライン配信に一本化し冊子媒体での配布をいたしません。

.....【 連絡先 】.....

◆大会予稿集原稿送付・問い合わせ先

① 予稿集原稿は、研究発表のお申し込み後に事務局よりお送りする電子メールをご確認いただき、北海道研究大会ウェブサイト専用フォームにてご送付ください。

② 予稿集原稿についてのお問い合わせは、北海道研究大会ウェブサイトの「お問い合わせフォーム」をご利用いただくか、下記のメールアドレス宛てにお願いいたします。

◆大会問い合わせ先：大会事務局

〒002-8502 札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号

北海道教育大学札幌校 志村 昭暢

Web サイト： <http://heles-web.com/jasele2022/>

e-mail: jasele2022@gmail.com

